

九条北小学校 校長室だより

NO.59 令和2年9月28日

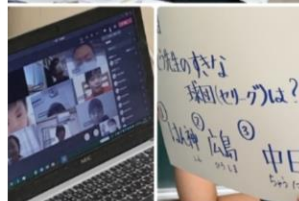


9月もあとわずかとなりました。秋分の日を境に、気温も幾分下がって、過ごしやすい日が続いているように感じます。と同時に、夕暮れの訪れも早くなりました。今日の全校朝会では、この夕暮れ時が、一番、交通事故が起こりやすい時間帯であること、自分の安全を守るためにも、気をつけようというお話をしてもらっています。

★ 双方向通信アプリ「Teams」

の接続テストへのご協力ありがとうございます！ ★

1年生・2年生・3年生の双方向通信接続テストへのご協力ありがとうございました。また、先週の土曜日にも、予定していた日程に都合がつかなかった方に接続テストをしていただけるように、接続テストを実施しました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございます。今後も、機会を作っていきたいと考えていますので、まだ、接続テストを実施できていない場合は、次の機会に、ぜひ、ご協力ください。



★ みんなが「思いやりの心」をもつ九条北小学校にしよう！ ★

全校朝会で、以前、ある新聞に載っていた詩を紹介しました。

思いやりのある子とは

まわりの人が悲しんでいれば ともに悲しみ

喜んでいられる人がいれば、その人のためにいっしょに喜べる人のことだ

思いやりのある子は、まわりを幸せにする。

まわりの人を幸せにする人は

まわりの人によって、もっともっと幸せにされる

世界で一番幸せな人だ。

だから、心のやさしい、思いやりのある子に育ってほしい。

それが私の祈りだ。

さようなら。

この詩は、病気のために亡くなったある若いお医者さんが、愛する娘さんに最後の願いとして書き残したものだそうです。

子どもは親にとってかけがえのない宝です。宝物の子どもには幸せになってもらいたいと願わない親はいません。みなさんのお家の方もそうです。みなさんの幸せを、いつも願っています。

そして、みなさんが幸せになるには、まず、みなさん一人一人が、「思いやりの心」を持つことです。友だちに嫌なことを言ったり、乱暴なことをしていないだろうか。友だちに嫌な思いをさせていないだろうか。傷つけていないだろうか、と振り返ることが「思いやりの心」を育てていきます。

この機会に、一度、振り返ってみてください。そして、みんなが「思いやりの心」をもつ九条北小学校にしてください。

